

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第1回三郷区地域協議会

## 2 報告（公開・非公開の別）

（1）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について（公開）

（2）令和4年度地域活動支援事業の完了について（公開）

## 3 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

## 4 開催日時

令和5年4月18日（水） 午後6時30分から午後8時8分まで

## 5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 6 傍聴人の数

2人

## 7 非公開の理由

—

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）  
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一、  
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美
- ・ 市役所：教育総務課 瀧本課長、秋山係長
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

## 9 発言の内容

### 【難波主任】

- ・ 12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

### 【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：平田伸一委員、山口委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【滝澤副所長】**

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について —

**【竹内会長】**

次第3 報告（1）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について に入る。

担当課より説明を求める。

**【教育総務課：瀧本課長】**

- ・当日配布資料No.1により説明

**【竹内会長】**

- ・今ほどの説明に質疑を求める。

**【渡部委員】**

3年生の授業で地域を知るという授業がある。一年かけて地域のことを知っていくが、三郷小学校が統合された場合、きちんと確保してもらえるのか。そこで、私たちが取り組んだ春駒も見つけ出してもらったりしたので、大事な單元ではないかと思っている。

**【瀧本課長】**

具体的に学校の統合という形で進んでいくようになれば、統合に向けた実行委員会が設置されて、いろいろな部会を設けてやっていく。学校の運営については、これまでも浦川原や板倉もそうだが、三郷も新しい学校の校区として、その学校の教育活動の新しいフィールドとして南本町小学校区も広がるので、例えば、昨年度で

あれば、古城小学校が直江津小学校に統合したが、古城小学校の校区を直江津小学校区の新しいフィールドとして、みんなで出かけて学習をしたりしているので、三郷のそういったところを地域資源として教育に生かしていくというのは、学校の中で行っていくので、全くなくなるという心配はない。

**【伊藤副会長】**

今、南本町小学校と統合する方向で進めているという話であるが、これは最終的に、小学校の保護者には、多数決を取る予定はあるのか。

**【瀧本課長】**

4月21日のPTA総会で報告をする。教育委員会の考え方、方向性について説明する中で御理解いただければ、その方向で進んでいくかと思うし、3月に行ったPTAの総会の中では、保護者の皆さんの中でもなかなか意見が分かれて決めきれないという状況だったため、教育委員会としての考え方も示してもらいたいということだったので、教育委員会として、こういった考え方で南本町小学校がいいのではないかということ整理し、21日のPTA総会で説明し、御意見をいただく形になるので、そこでおおむね合意をいただけるようであれば、その形で進んでいくことになるが、それは21日の総会の中でどのようになるか私たちも意見をいただかないとわからない。結果については、地域協議会、町内会長連絡協議会に報告することになる。

**【伊藤副会長】**

先ほど、統合に向けた委員会という話をされていたが、その対象者というのは、小学生の保護者がメインになるのか。

**【瀧本課長】**

例えば、今、具体的に安塚、大島、浦川原の中学校が統合するという形で進んでいるが、小学校、中学校、保育園の代表の方からも実行委員会に入っていて行っている。これから学校に上がる子どもがいる保護者と地域の代表や地域協議会等、いろいろな団体から入っていただくようになる。

**【伊藤副会長】**

これから統合になってから実行委員会に入るのは、保育園にいる保護者のほうが

断然多いと思うので、その方の意見をよく聞いていただいて、もし、統合になるのであれば、一番よい流れで進めていただきたい。

**【瀧本課長】**

補足だが、3月3日のPTA総会にも保育園の保護者の方にお声掛けして来ていただいた。21日の総会にも、保育園の保護者の方も参加いただくように案内をしている。

**【平田伸一委員】**

毎回、この説明の際にお聞きしているが、地域の皆さんからのコンセンサスというか、理解を得るのはどういう方法でやろうとしているのか、わからないところがある。今まで当事者としての保護者や、保育園の保護者の意見をお聞きしているのはわかるが、三郷区にとって150年を迎える伝統ある小学校である。住民のほぼみんなが卒業生なので、地域の人たちがそれぞれ、小学校に対する思いがある。そういうことで、これから地域全体の方々からどのように理解を得て、どういった方法でやるのか、5月の住民説明会あたりを一つの山場としてお考えなのだろうと思う。

3月3日の会議は、6グループに分かれて行ったということだが、何人くらい出席していたのか。差し支えなければお聞きしたい。

今一度、聞きたいのは、先ほど申し上げた、コンセンサスを得るために、どういう手順で、どんな内容でやろうとしているのか、それをお聞かせ願いたい。

**【瀧本課長】**

今後の取組予定ということで、5月に三郷区の地域の皆さんに説明会を予定している。これについては、先ほど、説明させていただく中で、町内会長連絡協議会の皆さんと相談する中で、やり方や時期は、町内会長連絡協議会の意向に沿った形で行いたいと思っているし、声掛けについても、町内会長から協力いただいて、やり方についても、町内会長連絡協議会の方と相談しながら進めていければと思っている。

3月の総会における正確な人数の資料は持ち合わせていないが、四十数人の参加をいただいていると思う。

**【渡部委員】**

教育委員会が中に入って三郷小学校に説明するという立場だが、一つの地域として、地域の代表が相手方の地域の方と話し合いをするようなことは考えているか。

**【瀧本課長】**

南本町小学校も三郷小学校の関係の皆さんも、地域の合意が得られて統合に向けて進むということになったら、それぞれ、三郷小学校の関係の方、南本町小学校の関係の方と一緒に学校をどうしていくのかという話を、統合に向けた準備ということで進めていくので、お互い一緒に考える場はある。

**【渡部委員】**

承知した。私が心配しているのは、小さいところが大きくなると吸収というイメージがあって、三郷地区がないがしろにされるのではないかという、漠然とした不安がある。教育という名前のもとで、三郷というその土地、地域がなくなってしまうのではないかという不安がすごくある。教育委員会の人、教育だけを見つめてそうされる。生徒数を見れば、仕方がないと思うが、でもその辺はすごく気に入っているところなので、地域と地域で話さない駄目ではないかと感じている。この三郷地区は三郷村というところから歴史が始まっているので、一つの大きな都市の集落ではなく、一つの行政の集落だったので、その辺りの意識があり、ぜひ地域同士の話はやっていただきたい。

**【竹内会長】**

今後のスケジュールの中で、5月に三郷地区住民説明会の開催後、南本町小学校への町内会や地域協議会への説明があるが、この辺りで南本町小学校もある程度の情報は得ているという考えでよいか。

**【瀧本課長】**

南本町小学校区については、学校の方にはこういった動きがあるという話をして、PTAの役員と会長等にも話している。高田区地域協議会の会長、副会長にも今こういう動きがあるという話しはしている。今後、南本町小学校区の町内の方とこういった話しをするということは、前もって話している。

**【竹内会長】**

仮に、この話がとんとん拍子で動いたとして、前から説明があったとおり最短2年で移行するということになると、令和7年には統合ということになるのか。

【瀧本課長】

仮にそういった形で、この後進んでいけば、最短でそのようなスケジュールになる。

【竹内会長】

複式学級の関係だが、やはり、今年度中にある程度手当てをしないと、教員の手当てとかということの問題が発生するということになるのか。資料を見ると、だんだん減ってしまうが、V字回復はまず不可能だと思う。

【瀧本課長】

このままでいくと、令和6年度に複式という形になると思うので、今年度の早い段階で、統合に向けた取組を進めていくということになれば、県の教育委員会に教員の加配のお願いをして、来年度そういった教員の配置をしていただければ、複式は生じなくなるし、そういったものをお願いしていくためにも、年度末では遅いので、早い時期にお願いできれば、そういう手配はできるかと思う。

【竹内会長】

他に質疑を求めるがなし。

いろいろな情報が入り次第、ホットな情報を我々に提供していただきたいと思う。

以上で、次第3 報告（1）学校適正配置に係る小学校の三郷小学校の状況についてを終了する。

（教育総務課、退席）

— 次第3 報告（2）令和4年度 地域活動支援事業の完了について—

【竹内会長】

次第3 報告（2）地域活動支援事業の完了について に入る。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・資料No.1により説明

**【竹内会長】**

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

以上で、次第3 報告(2)令和4年度 地域活動支援事業の完了についてを終了する。

— 次第4 議題(1)地域活性化の方向性について —

**【竹内会長】**

次第4 議題(1)地域活性化の方向性について に入る。

前回の会議では、地域活性化の方向性ということで、構成要素とするカテゴリーを決めていただいた。協議の結果、正副会長と事務局で地域活性化の方向性の素案を作成するという事になったので、本日お示しすることとした。

事前に皆様に配布されているので、見ていただいていると思う。前回の会議では、自らの地域活性化の方向性の案を発言された方々もいたので、その辺の案も考慮し、事務局と相談しながら素案を作成した。

事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・資料No.2により説明

**【竹内会長】**

- ・今ほどの説明に質疑を求める。

資料にある意見の補足や、追加したい意見等ある委員の発言を求める。

**【平田伸一委員】**

上から4番目の構成要素について、伝統芸能の伝承・保存と歴史的文化財発掘等の活動継続の支援と書いてある。歴史的文化財発掘等の活動については、自主的な会が作られ、それぞれ活動をなされているわけだが、その方々の活動を支援するようにしか受け取れないから、もう少し広く、活動している方はもちろん、それ以外の三郷地区の住民もこういうことについて、勉強する機会が必要なのではないか。

私が考えたのは、歴史的文化財発掘等の活動を支援し、学習機会を設置する。そんな形でやはり「古きをたずねて新しきを知る」ではないが、歴史的なことから、これから将来のことを考えるときに歴史的視点からも、いろいろ考察していく必要があるだろう。そういうところを載せたほうがいいのではないか。

**【竹内会長】**

平田伸一委員から4番目の文化、歴史の関係で、少し修正をお願いしたいという意見があった。

**【山口委員】**

私の案は届けてある。平田伸一委員が言われた意見も一つの考え方だと思う。活字にすればこういう形になるのだと思うが、言っていることは同じような気もする。全体でやるかやらないかの話だと思うので、そこを修正してもいいのではないか。

**【平田伸一委員】**

もう一点、一番下の構成要素だが、次世代を担うと書いてある。では、今の時代はどうなのか。次世代だけでよいのか。今現在の地域のリーダーも必要だと思う。次世代に固定する必要はないのではないか。それは、はっきりしたほうがよいと思う。

**【竹内会長】**

現在も若い方々でリーダーとして活躍されている方も多々いると思うので、次世代に限らず、現在のリーダーも含めて総合的にリーダーの育成をすることは考えていかななくてはならないと考えている。

**【平田伸一委員】**

これがずっと代々残っていく形だとすると、やはり整理したほうがいいのかと思う。

**【市村委員】**

「や」の後に「、」でも打ったらよいのではないか。次世代を担う人材や「、」地域リーダーの育成と社会教育の充実にしておけば、地域リーダーも育成するのではないか。私が個人的に思ったのは、書いてある順番だが、一番下の人材育成に関するところだが、上の五つはそういう人が育っていないと実施していくことができないものなのかと思うので、まず人づくりがあり、地域のいろいろな行事ができる。

同時にやらなければいけないが、重要度としては、一番下に書いてあるが、人材育成も大事かと思った。何となく上から順番に書いてあると、重要度が上のような感じがした。

**【伊藤委員】**

次世代というのは、市村さんがおっしゃったように「や」があるので、今の人も含めて、特に次世代の方を育てるという意味で、私は理解したので、このままでもいいのではないかと。「や」があるが、これが「人材と」となれば、今の人が漏れているというイメージもある。

あと、もう一点は上から4番目の伝統芸能の継承、これは三郷らしさを出すために「春駒」と入れて書いたらどうか。

**【竹内会長】**

「春駒」という具体的な名前もいろいろ出ていたので、我々も考えたが、そればかりではないのではないかとこのところだったので、いろいろな形の中で、こういう包括的な言い回しにしたところがある。

**【小山委員】**

私も市村委員がおっしゃっていたように、次世代の人材とかリーダーを先に持ってきて、人があつてのものなのかなと思った。

**【荏戸委員】**

全体的にはこれでよいのではないかと。先ほどからいろいろと話があるように、細かな言葉選びは、これから詰めていけばどうかと思う。

**【平田清委員】**

全体としては、この内容でよいと思う。最後の次世代を担う人材、地域リーダーの育成という、こちらが一番上なのではないかという話もあるが、この構成要素全体というのは、羅列されているだけで、重要度を考えての並びではないと思っているので、別にそれにこだわる必要はないのではないかと。

**【吉田委員】**

うまくまとめていただいたなという実感である。カテゴリーとしてもまとめてあるので、私としては、活字の相違ということだけで、これでよいのではないかと

う。最後の次世代を担う人材のところだが、私も順番としてはもう少し上ではないかと思っている。

**【渡部委員】**

他の地区と見比べてみると、もう少し具体的に書いてもよいのではないかと思う。他のところは米山とか、まちづくりという言葉が全部に入っていたりする。だから、新幹線駅も上越妙高駅と書いたり、伝統芸能ではなく、春駒と書いたりしてもよいのではないか。全体的にまとまっているという印象はある。

**【保坂副会長】**

最後の次世代を担う人材や地域リーダーの部分については、前回、皆さんと話し合ったときに、どうしても入れてほしくて、この項目を構成要素の中に入れていただいた。市村委員から指摘もあったが、私もこういう構成要素は、箇条書きになっているので、大事なものから記載すべきだと思う。人を育てるという部分は、これがあっての地域づくりという思いもあって入れていただいたので、できれば一番上に上げていただくと提案した者としては嬉しい。

**【伊藤副会長】**

この構成要素は、皆さんのいろいろご意見等の中で、数が多く出たものを上から決めてきたような感じだったので、皆さんの意見の中で、この田園風景とか、アクセスとかの意見が多かったため、その順位を決めてきたところである。

やはり、人が育たないと地域も育たないということもあるので、その辺は皆さんと協議してもよいのかなと思う。

**【竹内会長】**

今回、これである程度まとめていきたい。今の次世代を担う人材や地域リーダーの育成と社会教育の充実というところで、皆さんの意見が多かったので、これは一番上に持っていくということにしたい。皆さん、いかがか。

**【平田伸一委員】**

一番上の括弧の枠の中は、三郷区の美しい風景、農業、文化歴史という書き方で構成要素の順番に書いてあるように思う。そうすると、私はこのリーダーの育成とか社会教育というのは、一番上にあがるのは賛成だが、一番上の見出しの文章との

整合性を考えるべきである。リーダーや高齢者や子どもたちが、本当は上の方へくる。やはり人なのだろうという思いが、個人的にはしているので、構成要素の順番から言えばその辺が上かと思う。

**【竹内会長】**

この構成要素は、上から順番に並べてきたから、上の見出しもそういう言葉の言いまわしになってしまったのは確かである。人と人のつながりを大切にした活力と魅力ある地域を目指しますという形になるので、これの入れ替えが必要になってくるのかというところもある。

この六つの構成要素を網羅した見出しの言葉となっているので、なかなか難しいのではないかということもある。そう考えると、言い方を変えていかないといけないかと思う。保坂副会長どうか。

**【保坂副会長】**

私は、社会教育の充実とか人づくりは、それはもう全体的な部分なので、上のところの活性化に向けてのところ、文言としてそれに直結するものはないが、根底となる大事な部分ではあるので、上の見出しの文章はこのままだでもよいのではないかと思う。いろいろこだわりすぎると、文章がまとまらなくなってしまう。

**【山口委員】**

構成要素というのは、こだわってしまうと思う。文言を整理しようとするとう文章にならない。だから、この目的は、三郷区の美しい風景と盛んな農業である。確かに次世代のものを上に上げてもいいが、全体を網羅して目標を定めたわけだから、最初から、この目標を変えるのかとなれば難しいと思う。

**【竹内会長】**

あくまでも皆さんから出た意見がある程度整理したものが、この案なので、特に、何かを加えたというわけではないが、言葉のやりとりを充実とか発信とか振興とか推進とかという形の中で付け加えたところがある。

総合的には、山口委員が言ったように目的に対しては、やはり目標というところなので、ある程度は皆さんに理解いただけるのかと思って、今回素案として出した。

見出しの部分に関しても、構成要素をほぼ網羅した形の中で、言葉にまとめ上げ

たつもりである。それに対して構成要素の順番も考えなければならなかったが、皆さんと協議した中での順番で掲げたものである。見出しの文章は、下の構成要素も網羅できるような形で構成を考えてある。

見出しについて補足や、追加したい意見等ある委員の発言を求める。

#### 【保坂副会長】

私たちがこれを作った経緯としては、市から依頼があって作ってきたが、これをきっかけにして、三郷区が地域活性化するためにどういう方向を向いていかなければならないか、そして、そのために三郷にはどんな良さがあって、これをどう生かしていきたいかということを考えるととても大事なきっかけになったのではないか。

そこで、文章化する時に、時間かければかけただけいいものができると思うが、そこに時間をかける大切さもあるし、ある程度、私たちの思いが詰まった文章であれば、それを基にして次に進むための、地域づくりのためにこの地域協議会でどうやっていこうかという、その部分がとても大事ではないか。

これだけの委員がいるので、みんなでもた知恵を絞ることもできるかもしれないが、ある程度のところで納得するのも大事かと思う。次へ進むための大事な言葉として、やっていければいいかと思う。

#### 【竹内会長】

三役としては、これを取り組んだ時から話があったとおり、三郷区をどのような方向へ向けていかななくてはならないかということで、スローガンを見極めながら言葉にするのは、なかなか大変ではないかというところで向かった。また、グループワークを行い、地域の各種団体との意見交換も実施し、いろいろな意見が出た。それらの皆さんの言葉をまとめたものを、ここに素案として取りまとめたところだが、三郷を思う気持ちが全て素案に表れていると思っているし、我々が動かなくて、誰が動くのだという思いもある。思いを込めた方向性になっていると考えている。

#### 【平田伸一委員】

日程的にどうなのか。今日、この場で決定しなくてはならないのか。先ほど、説明では素案だと聞いているので、今日の意見を踏まえて再度、また案として次回持ってきてもらうこともありかと思う。

今日、この場で決めなくてはいけないのであれば、それなりの議論をしなくてはならないし、持ち越せるのであれば、持ち越したほうが良いと思う。いろいろな意見が出たのは、正副会長も中身については承知しているし、事務局も記録しているわけだから、それを踏まえて次回、持ってくるというのもありかと思う。それをはっきりさせてほしい。

**【竹内会長】**

私たちとしては、今日ここで、決定したいと思っていた。平田伸一委員の意見にあったとおり、また持ち寄るという案も出たところだが、任期もあと一年であるし、この課題にかける時間を考えるべきだし、先ほど報告があった小学校の関係もだんだんホットになってくるのではないかという情報もあるので、今日ここで決定したいという思いはある。

もう一度持ち寄ってとすると、また言葉の話が出てくる。委員の皆さんが、もう一回議論しようということであればそれも可能だが、三役と事務局としては、ここで決めていければよいと思っているところである。

今日の配布資料の中でも、有田の地域活性化の方向性が出てきているし、まだ議論している区もたくさんある。今日ここで決められれば一番よいという気はする。

**【渡部委員】**

活性化の方向性という話で、この後は、市の取組の企画の参考にしたいというのが目的だったと思うが、この後、これがどのように地域の活動にいかされるのか、このままこの方向性が提出されて終わりということなのか。そこがはっきりしない。それによって、文章に時間をかけるか、かけないかが決まってくるのではないか。

これが地域で話し合う基になるのであればすごくよいことだと思う。これは、市の取組の企画の参考ということで、そこがよくわかっていない。

**【竹内会長】**

前回の会議でもあったとおり、市の取組の参考にしていきたいというところもあるし、本来であれば我々がこれを基に活動しながら、「私はこの構成要素のこれがすごく気になるから、活性化に向けて頑張りたい」という思いの人も地区の中にいると思う。そういう人には、やはり、地域協議会として支援しながら、それに対して

の意見書等の協議も始めていくとか、そんな流れの展開もできると思う。市の参考だけではないと思う。

**【渡部委員】**

これを提出されると思うが、この文章の内容がどのように地域に反映していくのか。地域でそのように思っている人がいると言われても、そこがどうやってつながっていくのか、私はわからない。

**【竹内会長】**

つなげるのは委員の皆さんである。

**【渡部委員】**

これをどのように活用したらよいのか、私はよくわからない。

**【竹内会長】**

活用の仕方は様々だと思う。行政が、三郷地区は「春駒」を頑張っているの、行政もある程度支援しなくてはならないということになれば、そこに予算をつけたり、見てくれたりというところの検討も進めるだろうし、我々もそれに関わって、いろいろな審議をしたり、また意見書を出したりしていけば、それにつながっていく。三郷米のブランド化もそうだし、農政について、こういう働きかけをしようとか、意見書を出していこうとか、我々の活動の中での方向性もできていると思っている。だから、我々が一つ、やはり頑張っていかななくてはいけないところもあるし、それを地域に伝えながら、三郷はこういうことをやりたいというスローガンを皆さんに発信していくのは、我々の役目であると思っている。

常に発信していかないと、地域の方々は、何も動いていないのではないかと思っている人はたくさんいると思う。言い方が一方的かもしれないが、事務局で補足していただければありがたい。

**【難波主任】**

私から補足する。地域活性化の方向性が完成したら、他の区と同様に、地域協議会だよりで三郷区の住民の皆さんに全戸配布して周知するとともに、市のホームページに掲載し、市民にも周知をすることになっている。市長には、地域政策課が報告して、情報共有する予定である。

**【竹内会長】**

いずれにしても、三郷区というものを知らしめながら、三郷の方向性はこうなのだということを発信していかななくてはいけないという思いがあるが、どうか。

**【山口委員】**

他の区を参考にして恐縮だが、間違っていたら許してほしい。

中郷区における地域活性化の方向性をみると、非常に良いものを作っており、これがイメージだと思う。これが住民組織である。行政とうちで言うと南部まちづくりセンターだが、そういったのを立ち上げた中で、地域独自の予算をつけてもらう。あるいは、市でやる部分については、地域協議会として意見書を提出する方法もある。三郷では構成要素を箇条書きにただけであって、図にすればこういう形が理想だと思う。

**【竹内会長】**

どこの区もそうだが、やはり目に見えるものがないと思う。三和区であれば、上沼道のインターをいかしたというような表現をしている。いつできるかわからないが、それを利用した活性化をするのだというような文言になっている。そんな形の中で、三郷区もそうであればと思っているし、山口委員が言ったとおり、これを基に我々が発信して、地域の皆様から地域独自の予算をどのように使っていただくか、どうやって使っていくのかというような流れの中で、やっていけば一番いいのかなと思っている。それでは、今回、多少の文言のご意見も出たが、ある程度網羅されているということで、この内容としたいと思う。順番もあるが、構成要素を一つのものと考えれば、ある程度見出しのほうも、それを全部網羅しているような言い回しになっていると思う。

**【平田清委員】**

直していただけるのであれば、構成要素の上のほうの文章の中で「アクセスのよさをいかして」と書かれているが、主語が抜けている。何に対するアクセスがいいのかというところが抜けているので、交通アクセスがいいとか、そういう文章に直していただきたい。

**【竹内会長】**

何のアクセスかよくわからない。「三郷区の美しい風景、盛んな農業、文化歴史の資源、交通アクセスのよさをいかして、人と人のつながりを大切にした活力ある魅力溢れる地域を目指します」でどうか。「交通アクセス」ということで、言葉としてはよいか。

**【市村委員】**

言葉の話になるが、アクセスというのも辞書で調べると、最初に出てくるのは、「交通手段で連絡が取れること」と書いてあるので、アクセスという言葉だけで交通ということがわかるので、交通にさらにアクセスをつけるのはどうかと思ってしまう。新幹線と主要道路と言っているだけでも交通のことだとわかると思う。

**【平田清委員】**

確かにそのとおりである。下の構成要素の中では、新幹線駅と主要道路と書いてあるから、それでわかるといえばわかるが、主要交通機関のアクセスがいいというような形にするのがいいのか、私も文章が頭に浮かばなかったので、交通アクセスと言ってしまったが、アクセスが良いということは、そのとおりなので、これでまとめてしまってもいいが、もう少し入れてみてもいいかと思っただけである。

**【竹内会長】**

行政的に言葉に問題はないか。

**【難波主任】**

特にどちらにしなければならないというルールはないので、皆さんの感性で決めていただきたい。

**【竹内会長】**

四つ目はどうか。平田伸一委員は、活動を継続し、学習機会の設置など、いろいろお話があったが、山口委員に言わせると、総合的に網羅されているということだった。それから、「次世代を担う人材や」の後ろと「地域リーダーの育成と社会教育の充実」の後ろに「、」を入れるという意見もあった。

**【保坂副会長】**

次世代を担う人材や地域リーダーの育成というところで、私はこの二つのものということで考えたのでこの言葉を選んできた。「や」の後に「、」は打たないと先輩

からすごく言われてきた経験があり、「地域リーダーや次代を担う人材の育成」と語順を反対にするのもよいのかなと思う。

**【竹内会長】**

「、」はなしということなので、このままのほうがスムーズかなというところもあるし、今回、素案どおりでまとめるというところでどうか。

**【平田伸一委員】**

また振り出しに戻って、原案通り承認しろということか。そうすると、今までの議論は何だったのか。

**【竹内会長】**

平田伸一委員から、今までの数十分かけた議論は何だったのかというご意見が出た。いかがか。提出案どおりで承認しろということかと問われたが、ここにたどり着くまでの経過として、皆さんと議論して意見を出してくれた言葉をそのまま提出案に反映させたものである。多少の言葉を付け加えてあるが、行政からの文言、こうしなさいということは一切入っていない。皆さんから出た意見そのものである。行政からは、ある程度アドバイスをいただいただけで、皆さんの意見、地域の団体からいただいた意見等をまとめた形になっている。そんな中で、仕上がってきたものだと思っている。まして、三役だけで決めたわけでもない。これを今回皆さんにお示しして、意見を聞いている。押し付けているわけではない。今の意見もあるし、皆さんからまた意見をいただければと思っている。いかがか。

**【渡部委員】**

最後の「次世代を担う人材」というのは、私も次世代が全体にかかるような気がする。だから、さっきおっしゃったように、「地域リーダーと次世代を担う人材の育成」とした方がすっきりするような気がする。このままだと、次世代が担う人材、地域リーダーの二つにかかるような気がする。

**【山口委員】**

ここまで話したのだから、一人一人の意見を聞いて下の方からやるのであれば、地域リーダーと次世代を担う人材の育成と、入れ替えても別に問題はないような気がする。あくまでもこれは案なので、次回の5月にもう一回決めて、そこでお互い

に納得した中でやったらどうか。決して、三役に責任を押し付けるわけではない。

**【竹内会長】**

あくまでも我々の素案ということで皆さんにお示したので、そうであれば、私たちも押し付けるつもりはないし、皆さんの意見がまとまればそういう形もありかと思っている。冒頭から話しているとおおり、三郷区の地域活性化の方向性ということで、皆さんが、意識を持って動いていくためには、早いほうがよいという思いもあったので、今回決めたいと思っていた。

皆さんの総意であれば、次回にもう一度、これに基づき、個々の意見を持ち寄って、文言の入れ替えなり、対応をしていければよいという気もするが、どうか。次回もう一度これを基に皆さんで持ち寄って、一字一句直して、その場で決めるということにするか。

**【平田伸一委員】**

今、意見が出たものを修正できるのなら、また、前後の言葉のつながりがあるから、会長、副会長、事務局でもう少し直して、次回に示したらよいというのが、私の意見である。これを全部持ち帰って、直して、またやるとなると作業的に無理とは言わないが、どうなのかというのが私の考えである。

**【蒔戸委員】**

もうここでまとめたのでよいのではないか。持ち帰ってという話もされたが、持ち帰ったところで、この文章がどこまで変わるかということもあるし、私の意見を言わせてもらおうと、人材育成が大事だから一番上に持ってくるという話もあったが、人材育成というのは、基本的に上の五つに対していろんなことを取り組む中で育成できるわけであるので、順番もこのとおりでよいのではないか。

一つ言えるのは、先ほどから問題になった一番下の文章だが、順番が未来、現在という書き方になっているので、地域リーダーを前にもって来て、現在、未来という書き方に変えたらわかりやすくなるのではないか。

**【竹内会長】**

皆さんから意見をいただいた。これを今後直して、次回の会議で示す。ほぼ皆さん全員から意見をいただいたので、もう少し我々で詰めて、もう一回示させてもら

って、そこで決定するようにする。

**【平田伸一委員】**

そのように整理してもらえればありがたい。それと同時に、地域活性化の方向性が確定したとして、これをどうやって地域で使っていくのかなど、どうやって地域の人たちと進めていくのか。そういう議論は、全然やっていない。これを作ることが目的化している。

だから、これをベースにして、今度どうするかという議論が具体的に必要な気がする。次回、最終案ということになるのかもしれないが、それと同時にこれをどうやって三郷区の中で生かしていく、活用していくのか、そういうところも議論する場面を作ってもらいたい。ついては、他に先進的に取り組んでいる区もあるので、そういうところもぜひ参考にできるものがあれば、示していただきたい。

**【竹内会長】**

当然、そういう場面を作ることは考えている。今、平田伸一委員から話しがあったので、次回、意見を取りまとめた最終案を皆さんに提示する。それと同時に、これをどう活用していくか、皆さんと議論をしていきたい。次回までに、「私はこの項目に構成要素に対して、こういうところに働きかけ、こうやりたい」というような案を持ってきていただければと思っている。

それでは、今日出た意見を整理して、次回の協議会の中で最終案を示し、そこで決定したい。それと同時に、この方向性の活用の方法なり、議論の仕方等をその場でまた協議していきたい。三郷区の活性化のために尽力いただきたい。

以上で、次第4 議題（1）地域活性化の方向性についてを終了する。

— 次第5 事務連絡 —

**【竹内会長】**

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

**【滝澤副所長】**

・第2回地域協議会：5月23日（火）午後6時30分から 三郷地区公民館

- ・第3回地域協議会：6月20日（火）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・その他の配布物：有田区、柿崎区、中郷区地域協議会の「地域活性化の方向性」  
柿崎区地域協議会の意見書  
令和5年度地域独自の予算 地域自治区別事業一覧表  
上越市第7次総合計画冊子（本編、ダイジェスト版）  
上越市創造行政研究所ニュースレター No.52、53  
ウィズじょうえつからのおたより

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。